

取扱説明書 Ver1.2_202405

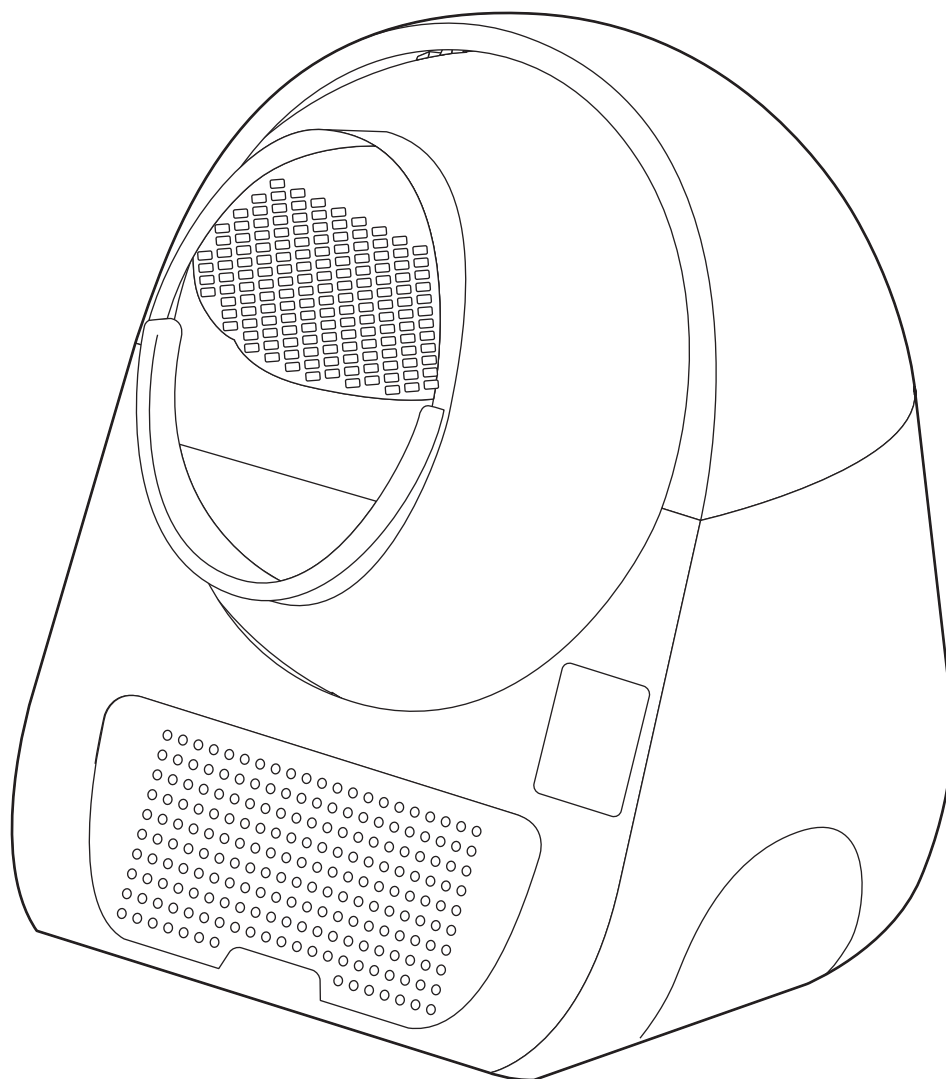
使用上の重要な情報が書かれています。ご使用前に説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。説明書はお使いになる方がいつでも見る事ができるように大切に保管してください。

本取扱説明書は大切に保管してください

- 本製品は家庭用であり、業務用に製造されたものではありません。
- 本製品はペットの安全と健康を保証するものではありません。

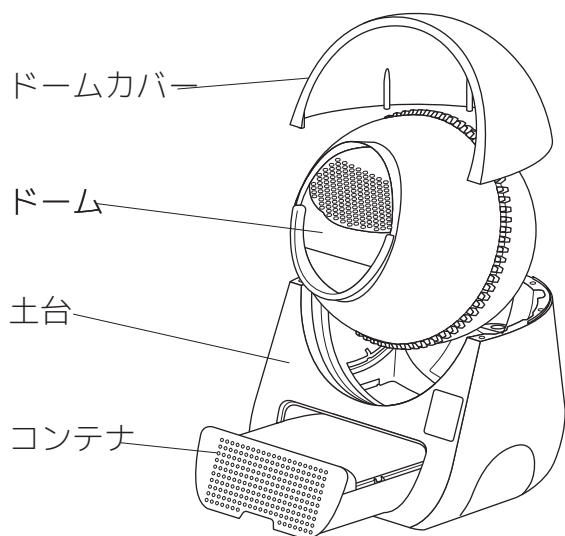
「自動猫トイレ」は「何もしなくていいトイレ」ではありません

- 本製品は「固まったトイレ砂(排泄物)をトイレから掬い上げる」作業を自動化したトイレです。その他の作業(排泄物の処分、清掃など)は定期的に行ってください。

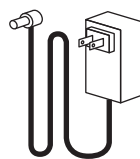


2ページ	梱包内容物
3ページ	安全上の注意
4ページ	使用時の注意
5ページ	使用前の準備
6ページ	使用できるトイレ砂について
7ページ	各部の名前とコントロールパネルについて
8ページ	処理サイクルについて
9ページ	電源のオン・オフ
10ページ	トイレ砂を入れる（追加する・量を減らす）
11ページ	オートモードで使用する
12ページ	マニュアルモードで使用する
14ページ	エンプティモードについて
15ページ	その他の機能
17ページ	お手入れ方法
18ページ	組み立て方法
19ページ	安全装置について 重量補正について
20ページ	こんな時は
21ページ	製品情報・無料修理保証について

02 梱包内容物



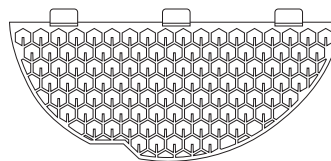
本体：1台



電源アダプター：1個



専用ライナー
1巻（20枚）



メッシュプレート：粗目

※本体に取り付けられています

火災や感電、またはケガを防止するために必ず以下の点をお守りください。

- 本製品は猫用トイレです。本来の用途以外の使用はお止めください。
- 本製品は家庭内での使用を目的としています。商業用または工業用として使用しないでください。
- 本製品は留守中のペットの世話と安全・健康を保証するものではありません。旅行など長期間家を留守にする場合は必ずペットホテルを利用したり、知人に世話を頼むなどしてください。
- 本製品をお子様や、身体・思考能力が著しく低下している方が単独で使用することは危険ですのでお止めください。
- 使用する際は安全に使用できる環境下かつ、製品の安全な使用方法と危険性を理解している方の指示監督のもとで使用し、お子様のみでのお掃除やお手入れは危険ですので絶対に行わないでください。
- お子様が居る場所で使用する際は十分注意してください。また、お子様が本製品で遊ばないように注意してください。
- 濡れた手で電源アダプターや本製品を触ったり、操作したりしないでください。
- 屋外や浴室など湿気の多い場所や水に濡れる場所での使用、保管はお止めください。
- 回転中のドームや、ドームとドームカバーの隙間に指や手を触れないでください。
- 本製品が上手く機能しない場合、破損した場合、屋外に放置したり液体に浸してしまった場合は使用せずに必ずご連絡ください。
- 製品を分解しないでください。間違った組み立て方をすると感電や火災につながる恐れがあります。
- 電源アダプターや電源コードが破損した状態で本製品を使用しないでください。
- 電源コードを引っ張ったり、上に重たいものを乗せないでください。また、コードを挟んでドアを閉めたり、先端が鋭利なものや角のまわりで電源コードを引っ張らないでください。
- 延長コードを介しての使用は推奨しません。また、タコ足配線はお止めください。
- 長期間使用しない場合や、本体の掃除を行う前は必ず電源アダプターをコンセントから抜いてください。
- 火気や熱源の近くで使用したり、保管しないでください。
- 故障の原因となりますので、定期的に掃除を行なってください。汚れたまま使用すると故障や破損の原因となります。

《カーペットやマットの上に置かないでください》

本製品は底部のセンサーで重量を感知しています。カーペットなど柔らかい床の上に置くと正しく重量が計測できませんので、必ず固く平らな床の上に置いてください。

《安全装置を過信しないでください》

本製品にはドーム回転中に猫が入った時に動作を停止するなど自動停止装置が備わっていますが、確実に事故を防ぐことを保証しているものではありません。装置を過信せずに常に安全に注意して使用してください。

《長期間留守にしないでください》

旅行などで家を長期間留守にする場合はペットホテルを利用したり、ご家族や友人に世話を頼むなどしてください。

《こまめに掃除してください》

故障の原因のほとんどが、製品が汚れたまま使用したことによるものです。コンテナに集められた固まったトイレ砂は、こまめに処分してください。また、必ず定期的に土台やドームを掃除してください。

《万が一のために予備のトイレをご用意ください》

本製品は同時に 3 匹まででの使用を想定しています。同時に使用する頭数が多くなると汚れやすくなり、故障へ繋がりがやすくなるので注意すると共に、こまめな掃除をお願いします。

《万が一のために予備のトイレをご用意ください》

本製品は機械ですので修理が必要になる場合があります。修理中の代わりにのトイレは必ずお客様ご自身で準備をお願いします。弊社が実施している 12 ヶ月の無料修理保証は、修理中のトイレの都合やペットの世話を補償するものではありませんの予めご了承ください。

《なるべく箱は捨てずに残しておいてください》

修理の際は弊社へ本製品を発送して頂く必要があります。その際の梱包費用は無償修理、有償修理に関わらずお客様負担となります。比較的大きな梱包資材が必要になりますので出来るだけ発送時の箱を残しておくことを推奨しています。

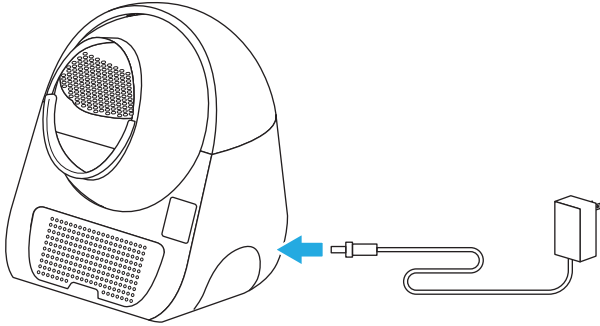
《ペットに無理に使用させないでください》

トレー型のトイレに比べ、本製品は見た目も大きさも全く異なります。ペットが興味を示す反面、緊張し不安を感じる事もあります。すぐにトイレをしないからといって、無理にドームへ入れようとする事は絶対にお止めください。

《シリコンラバー部分に対する引っかきやかみ付きにご注意ください》

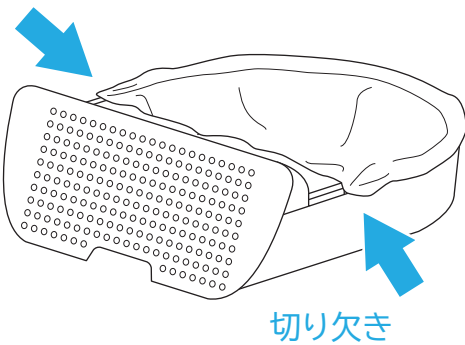
本製品のシリコンラバー部分は猫の爪により損傷する場合があります。このような損傷はメーカー保証の対象外となります。あらかじめご了承ください。特に爪研ぎ癖のある猫の場合、損傷防止のため定期的に爪を切るなどの対策を講じてください。

《01：電源アダプターの取り付け》



電源アダプターを本体に差し込みます。
※必ずコンセントに電源アダプターを差す
前に、差し込んでください

《02：専用ライナー（ゴミ袋）の取り付け》



ライナーはこまめに交換してください。
固まった砂を溜め込みすぎると故障の
原因となります。

ライナーはコンテナのふちを覆うように取り付け、
左右の切り欠きに引っ掛けて固定します。

- 本製品には固まるタイプのトイレ砂をご使用ください。固まらないタイプのトイレ砂を使用すると動作不良や故障の原因となります。
- ドームメッシュには細目と粗目の2種類あります。使用するトイレ砂に合わせて使用してください。
- 粒の大きさはなるべく小さい砂状のものをご使用ください。粒の大きさが大きかったり、特殊な形状をしていると、網を通り抜けられずに固まっていない砂も排出される場合があります。

細目のドームメッシュは別売りです。

《粒状で0.5～2.0mm程度のトイレ砂を使用する場合》

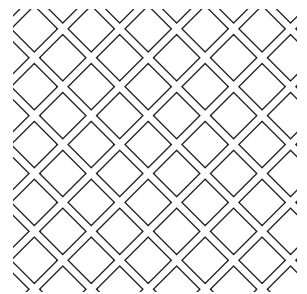
- 細目、粗目のドームメッシュどちらでも使用できます。

《粒状で2.0～6.0mm程度のトイレ砂を使用する場合》 《異なるトイレ砂を混ぜて使用する場合》

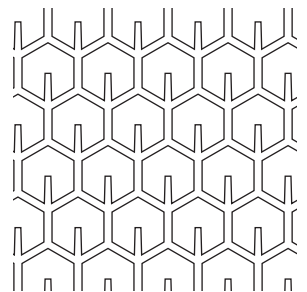
- 粗目のドームメッシュを使用してください。
- 固まるまでの時間が著しく異なるトイレ砂は混ぜて使用しないでください。

《ペレット状で太さ2.0×長さ8.0mm程度のトイレ砂を使用する場合》

- 細目、粗目のドームメッシュどちらでも使用できますが、砂状のものに比べて固まっていない砂も排出されやすくなります。



細目のドームメッシュ
(別売り)



粗目のドームメッシュ

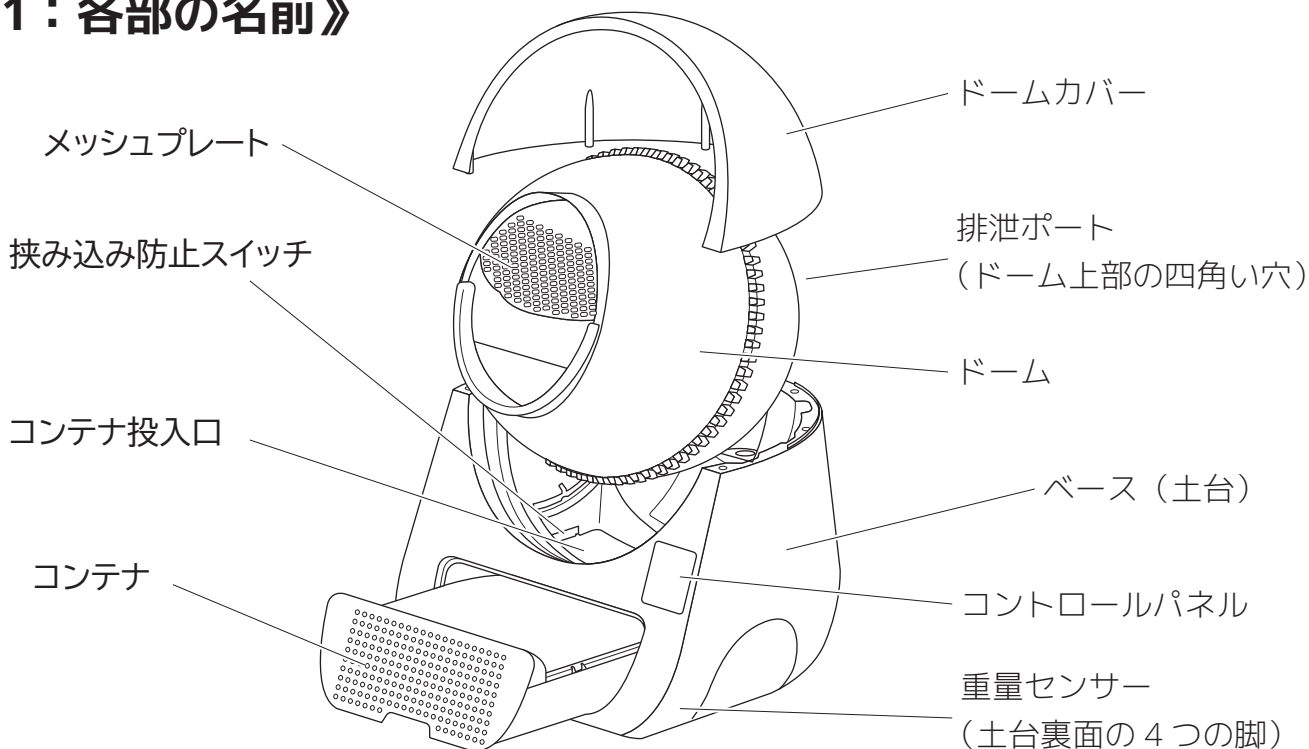
《どちらのドームメッシュでも使用できないトイレ砂》

- 紙製のトイレ砂（砂の選り分けがドームの回転速度に追いつかず使用できません。）
- 凝固力が弱いトイレ砂（処理サイクル中に砕けて網目を通り抜けてしまうので使用できません。）

《固まっていないトイレ砂も大量に排出されてしまう場合》

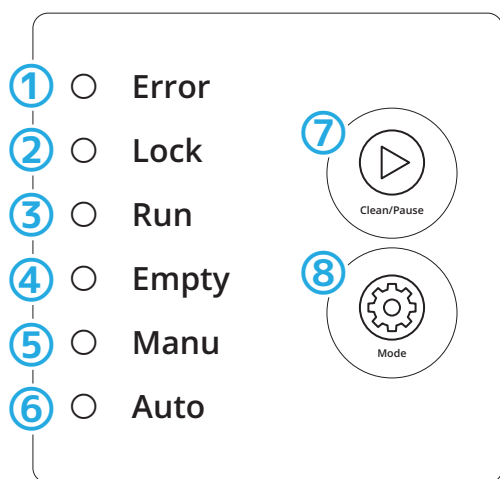
- トイレ砂を粒の小さいものに替えてみてください。
- トイレ砂の量を減らしてみてください。

《01：各部の名前》



《02：コントロールパネル》

●コントロールパネルには各種状態を知らせるランプと操作ボタンがあります。



①『エラー』

- ・《点灯》エラー発生時に赤色に点灯
- ・《点滅》コンテナが一杯になると赤色に点滅

②『ロック』

ボタンロックがオンの時、オレンジに点灯。

③『ラン』

ドーム回転中、青色に点灯。

④『エンプティ』

エンプティモード選択時、青色に点灯。

⑤『マニュアル』

マニュアルモード選択時、青色に点灯。

⑥『オート』

オートモード選択時、青色に点灯。

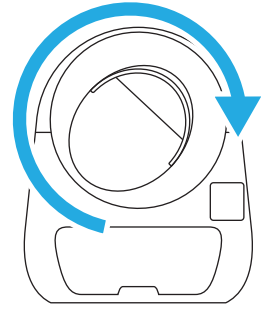
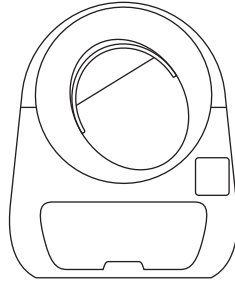
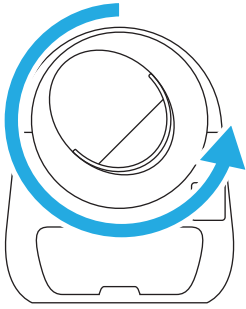
⑦『クリーン/ポーズ』ボタン

各モードの実行

⑧『モード』ボタン

モード選択

- 本製品は猫がトイレをした後以外にも、電源をオンにした時などに処理サイクルを行います。この項目では処理サイクル動作の流れを解説します。
- 処理サイクルはボタン操作、安全装置の作動による一時停止機能はありますが、動作そのもののキャンセル機能はありません。処理サイクルが始まったら待機状態に戻るまで待ってください。



① 動作開始

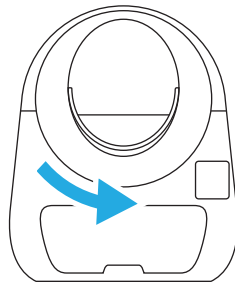
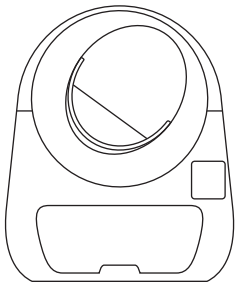
ドームが向かって左回転（反時計回り）に回転します。

② 排泄物をコンテナへ

ドームが一旦停止して排泄ポートから固まった猫砂をコンテナへ落とします。

③ ドームは元の位置へ

ドームが向かって右回転（時計回り）に回転し元の位置へ戻っていきます。



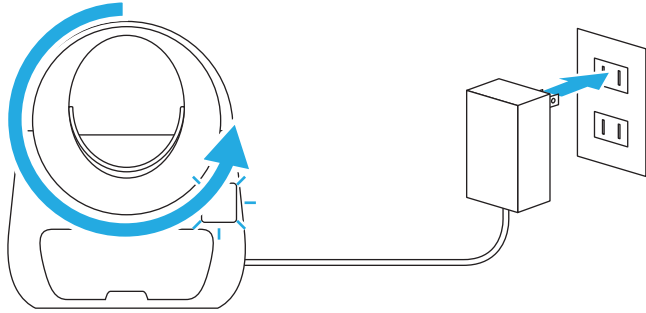
④ 砂均し

砂を均すために待機位置より少しだけ過ぎた位置まで回ります。

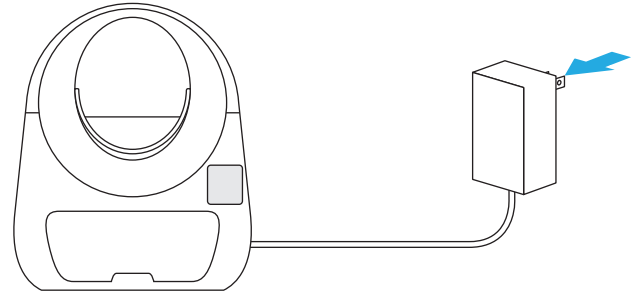
⑤ 動作終了（待機状態）

行き過ぎた分だけ戻ってきて待機状態になります。これで動作終了です。

- 本製品に電源ボタンはありません。アダプターをコンセントにつなぐと電源が入ります。
- 電源のオン・オフは必ずコンセントからアダプターを抜き差しして行ってください。本体と電源コードの抜き差しで行うことは危険ですでお止めください。



電源・オン



電源・オフ

① 電源をオンにする

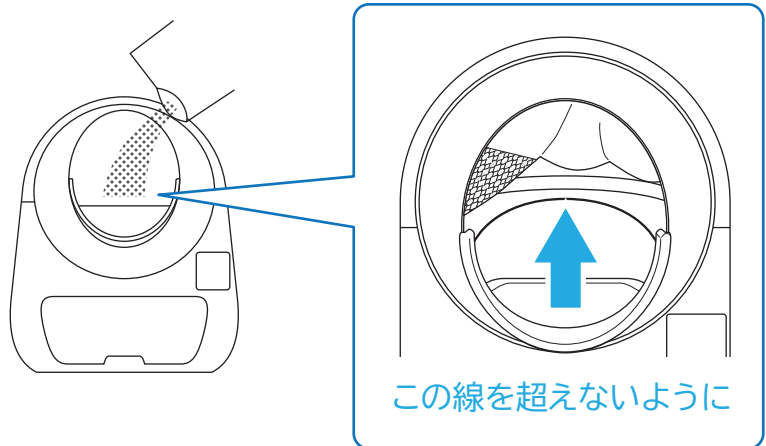
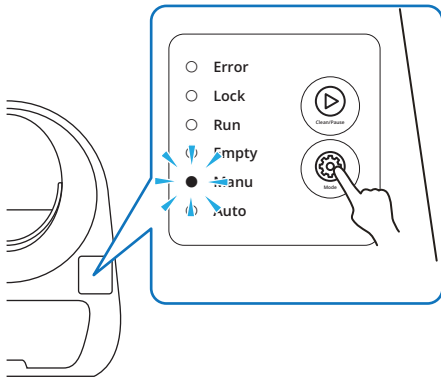
電源アダプターをコンセントに差し込むと電源がオンになり、処理サイクルを一回行います。ドームが待機位置に戻るまで待ってください。

② 電源をオフにする

電源アダプターをコンセントから引き抜くと電源がオフになります。

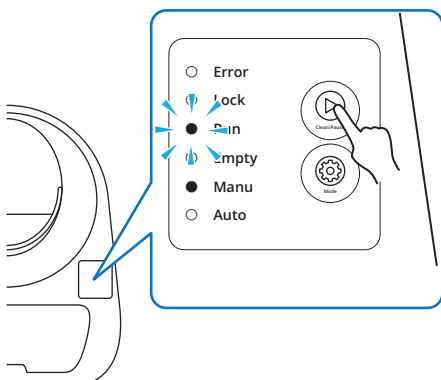
10 猫砂を入れる（追加する・量を減らす）

- ドーム内に猫砂を入れた（または量を減らした）場合は必ず「Clean/Pause」ボタンを押して処理サイクルを一度行ってください。
- 処理サイクルを行わなかった場合、猫が入ったのか猫砂が増えたのか判断するためにしばらく猫が入っても反応しなくなる場合があります。
- 砂の量がドーム内側の線を超えないよう注意してください。



① マニュアルモードへ変更する

mode ボタンを押してマニュアルモードに切り替えます。



② 猫砂を入れる（減らす）

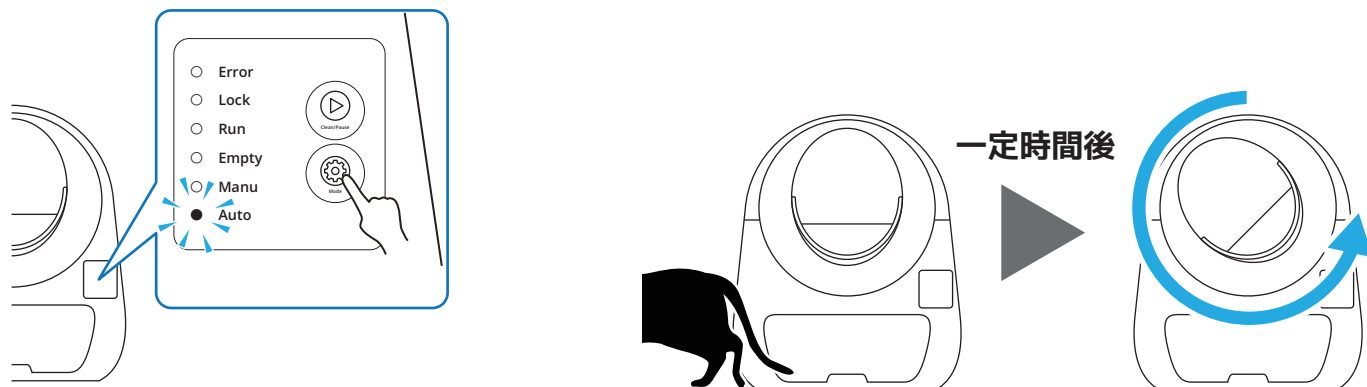
猫砂をドーム内へ入れ（減らし）ます。
入れる際はドーム内側の線を超えないように注意してください。
※猫砂の量が多いと固まっていない砂も処理サイクル時にコンテナへ排出されてしまいます。

③ 処理サイクルを行う

「Clean/ Pause」ボタンを押して処理サイクルを行ってください。

11 オートモードで使用する

- オートモードでは猫がトイレをした後、一定時間が経過すると自動的に処理サイクルを行います。
- 本体裏の重量センサーに反応がある（本体に荷重がかかる）とトイレをしたと認識します。
- 重量センサーの反応には 1.5kg 以上の荷重が必要です。そのため 1.5kg 未満の猫には使用できません。



① モード選択

「Mode」ボタンを押してオートモードに変更します。

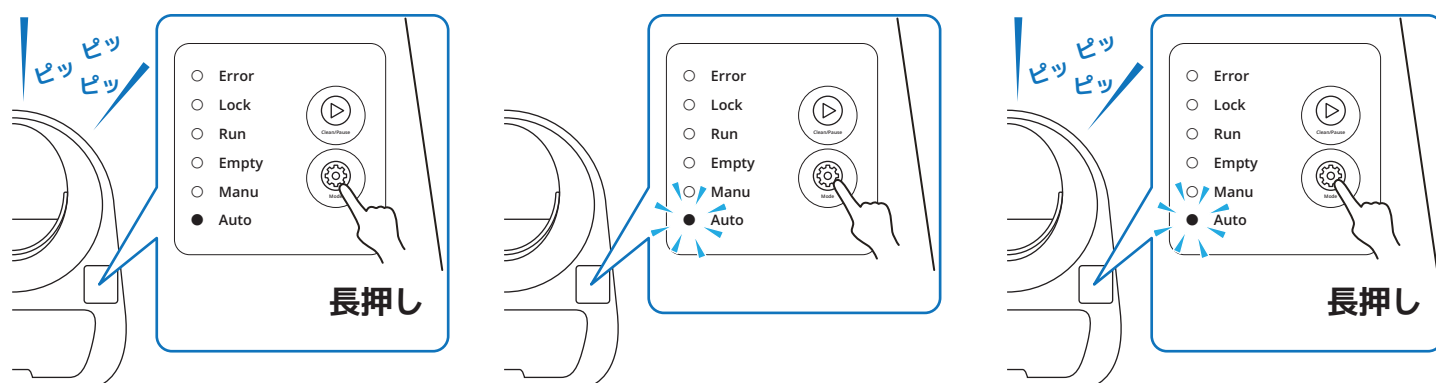
※Auto が青く点灯します。

② 猫のトイレ後、自動処理

猫がトイレをした後一定時間後に自動的に処理サイクルが始まります。

※一定時間経過前に猫がドームに入った場合はその時点からさらに一定時間経過する必要があります。

《処理サイクルが始まるまでの時間を変更する》



① Mode ボタンを長押し

オートモード中に「Mode」ボタンをビープ音が 3 回なるまで長押しします。

② 時間を選択

対応するランプが青く点滅するので「Mode」ボタンを押して時間を選択します。

Empty : 10分

Manu : 5分

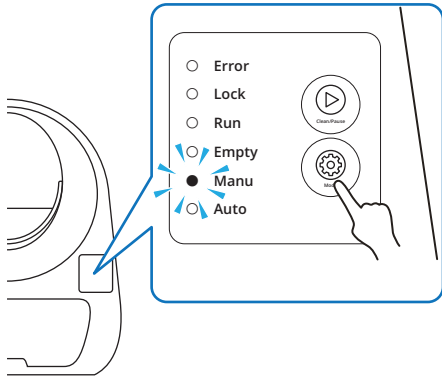
Auto : 3分

③ Mode ボタンを長押し

「Mode」ボタンをビープ音が 3 回なるまで長押しして設定を終了します。

12 マニュアルモードで使用する

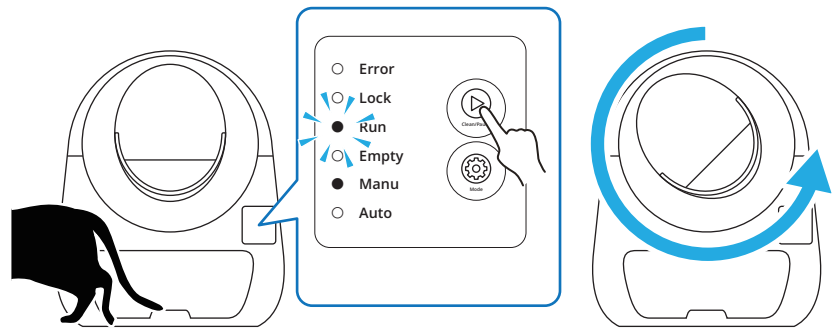
- マニュアルモードでは猫がトイレをしても、ボタン操作をするまで処理サイクルを行いません。
- マニュアルモード中に「Clean/Pause」ボタンを押すと処理サイクルを開始します。



① モード選択

「Mode」ボタンを押してマニュアルモードに変更します。

※Manu が青く点灯します。

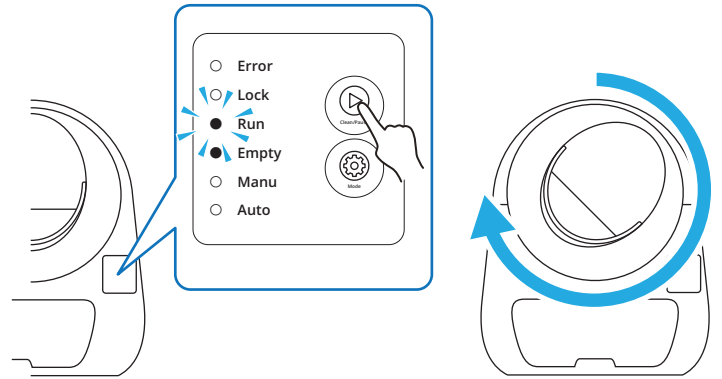
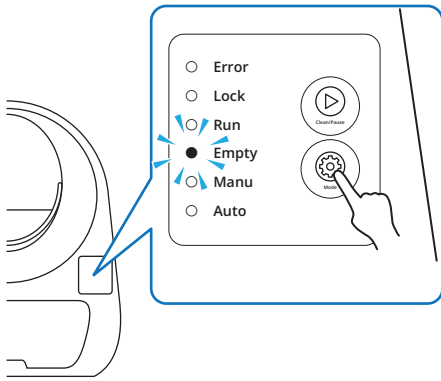


② ボタンを押して処理開始

「Clean/Pause」ボタンを押すと処理サイクルが始まります。

13 エンプティモードについて

- エンプティモードではドーム内の猫砂の全排出を行います。
- ドーム内の猫砂はコンテナへ落とされます。
- 構造上、ドーム内の砂を一粒残らず排出できるわけではありません。予めご了承ください。



① モード選択

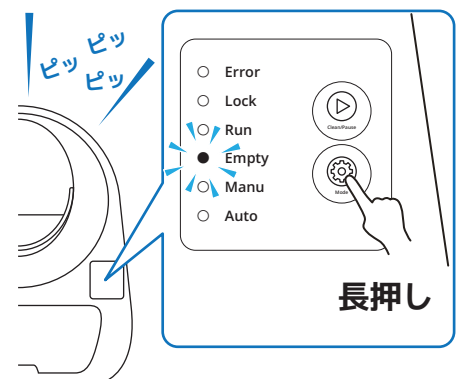
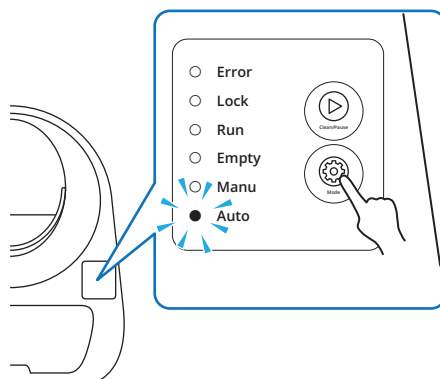
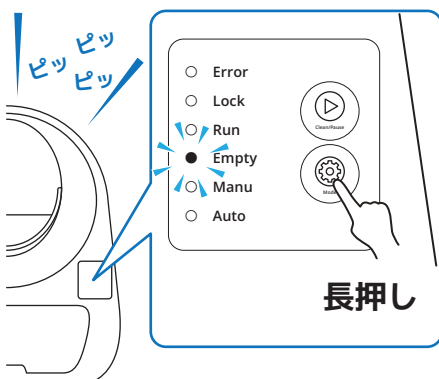
「Mode」ボタンを押してエンプティモードに変更します。
※Empty が青く点灯します。

② 砂の排出

「Clean/Pause」ボタンを押すとドームが回転して、猫砂をコンテナへ排出します。もう一度「Clean/Pause」ボタンを押すとドームが待機位置へ戻ります。

《砂を均す度合いを変更する》

- ドームが待機位置に戻る際に、ドームを停止位置より多めに傾けて砂を均す動きをしますが、ここではその時のドームの傾き具合(均す度合い)を変更できます。



① Mode ボタンを長押し

エンプティモード中に「Mode」ボタンをビープ音が3回なるまで長押しします。

② 時間を選択

対応するランプが青く点滅するので「Mode」ボタンを押して度合いを選択します。

Empty : 度合い強め

Manu : 度合い普通

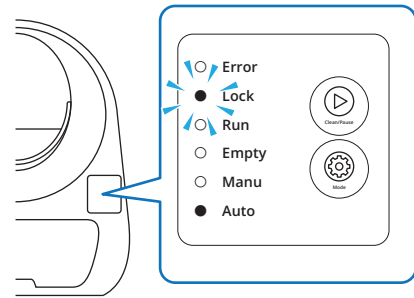
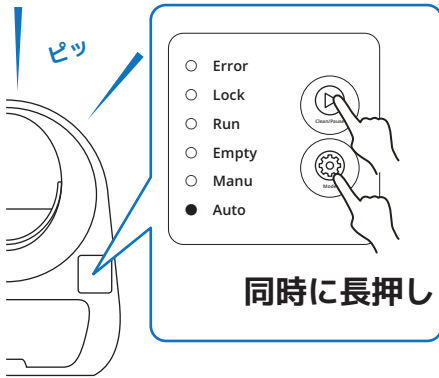
Auto : 度合い弱め

③ Mode ボタンを長押し

「Mode」ボタンをビープ音が3回なるまで長押しして設定を終了します。

《01：ボタンロック》

- ボタンロックをオンにすると、ボタン操作が行えなくなります。 ※マニュアルモード、エンプティモードも使用できなくなるのでご注意ください。
- ボタンロック中は「Lock」ランプがオレンジに点灯します。



① Mode ボタンを長押し

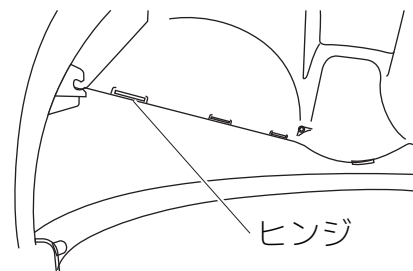
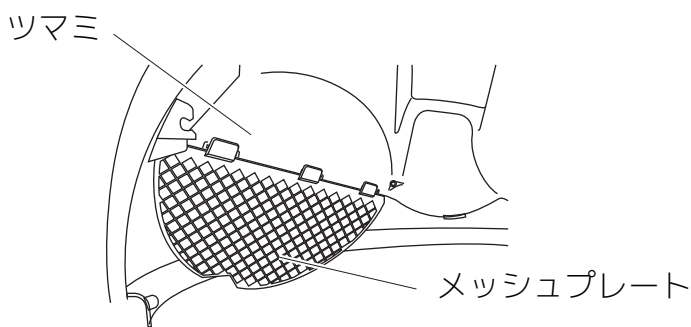
「Clean/Pause」ボタンと「Mode」ボタンをビープ音が1回なるまで長押しして、ロックのオン・オフを切り替えます。

② ランプがオレンジに点灯

ボタンロックがオンになっている時は、「Lock」ランプがオレンジに点灯します。

《02：メッシュプレートのつけ外し》

- ドーム内のメッシュ部分は外して洗うことができます。
- メッシュは水洗いしても構いませんが、洗浄後は水気を拭き取りしっかり乾燥させてから取り付けて使用してください。
- メッシュを取り付けるヒンジ部分は壊れやすいので取り外し、取り付けの際は十分ご注意ください。また、むやみにメッシュを付け外しすることもお止めください。



① メッシュプレートを外す

メッシュを取り外す時は、つまみを持ってゆっくりと引き剥がすように外します。

② メッシュプレートを付ける

取り付ける時はヒンジを折らないよう一箇所づつ取り付けてください。

- 本製品を汚れたまま使用すると故障の原因となります。定期的にお掃除を行なってください。
- お掃除を行う際はかならず電源アダプターをコンセントから外し、電源を切った状態で行なってください。
- 水洗いできない部品もありますのでご注意ください。

ドームカバー 水洗いができます。水洗いした後は完全に乾燥させてから組み立ててください。

メッシュプレート 取り外して水洗いができます。水洗いした後は完全に乾燥させてから組み立ててください。
※取り外しの際は破損させないように注意してください。

ドーム 水洗い可能ですが、ネジや位置検出用の磁石が錆びる原因になるのでしっかりと水気を拭き取り乾燥させてください。

土台 機械部品が組み込まれている為、水洗いはできません。固く絞った布巾などで表面を拭いてください。

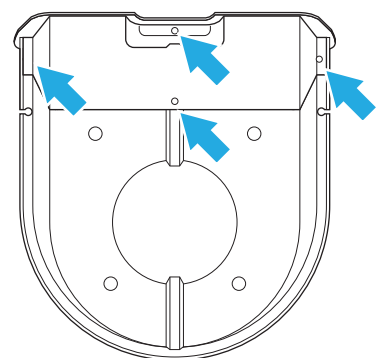
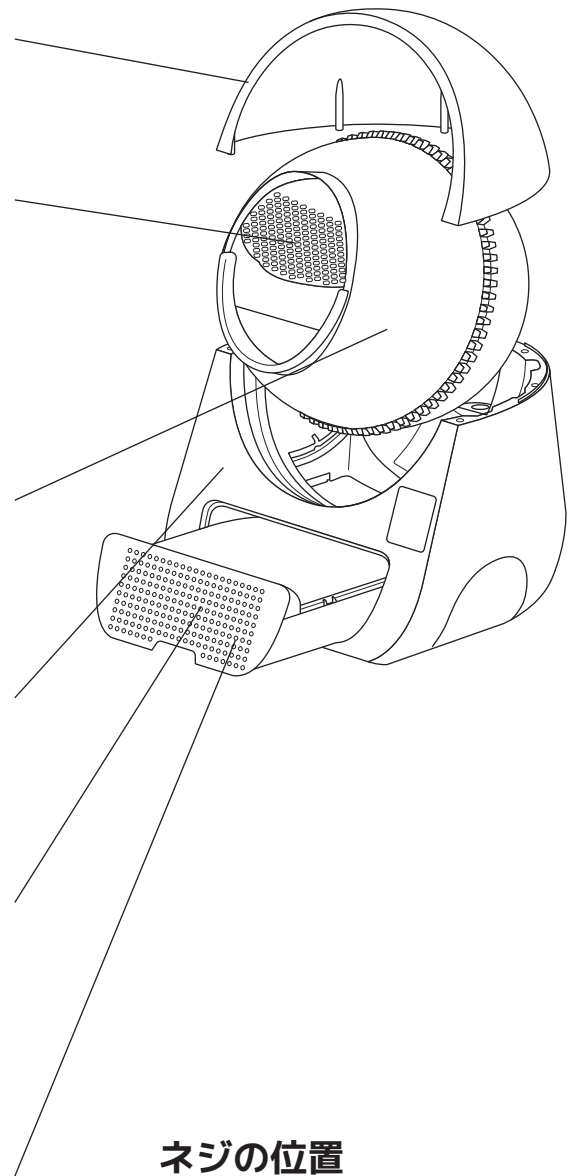
コンテナ 水洗いができます。水洗いした後は完全に乾燥させてから組み立ててください。
※フィルターを外してから洗ってください。

フィルター 取り外して天日干しする他、3ヶ月に一回は交換してください。交換の際は別売りの交換用フィルターをお買い求めください。

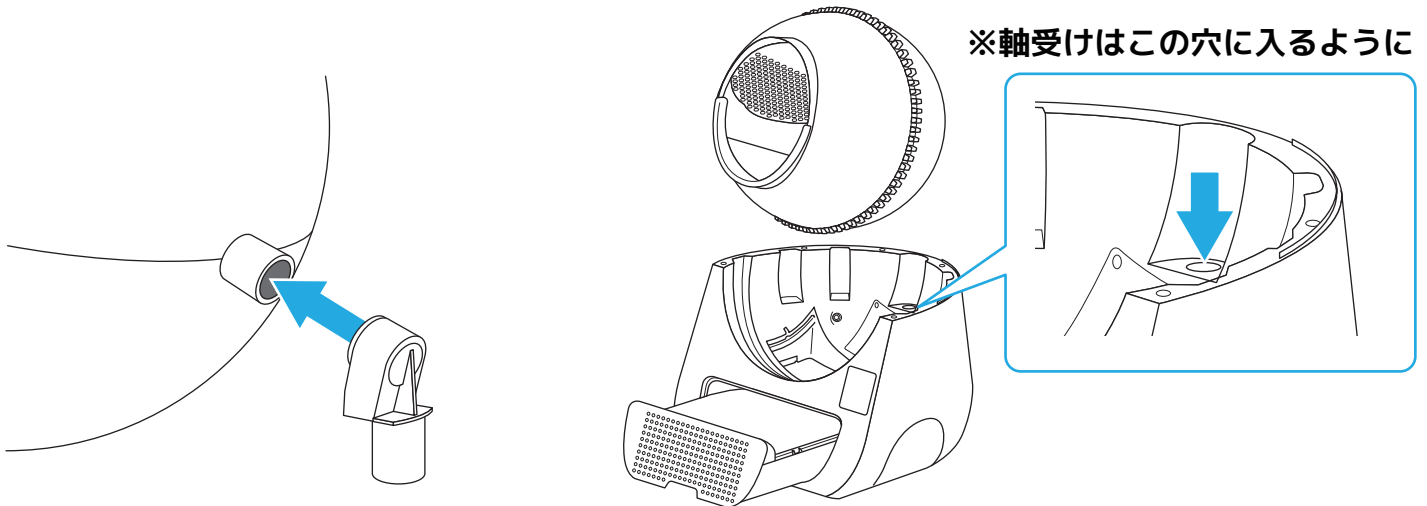
【フィルターカバーの外し方】

コンテナ裏の4箇所にあるネジを外すとフィルターカバーが外せます。

※フィルターカバーはツメで引っかかっているのでご注意ください。



- 本製品の組み立て方です。お掃除の後の組み立て時にご参考ください。
- お掃除の際の分解はドームカバー、ドーム、土台、コンテナを取り外す程度で十分です。それ以上の分解はしないでください。



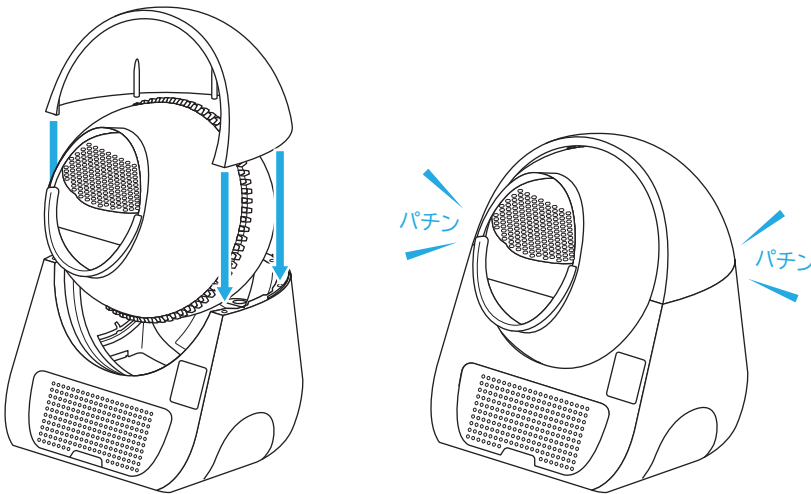
① 軸受を取り付ける

ドームの背面に軸受を取り付ける。

② ドームを乗せる

ドームを土台に乗せます。

※軸受けが土台の取り付け穴に入るように注意してください。



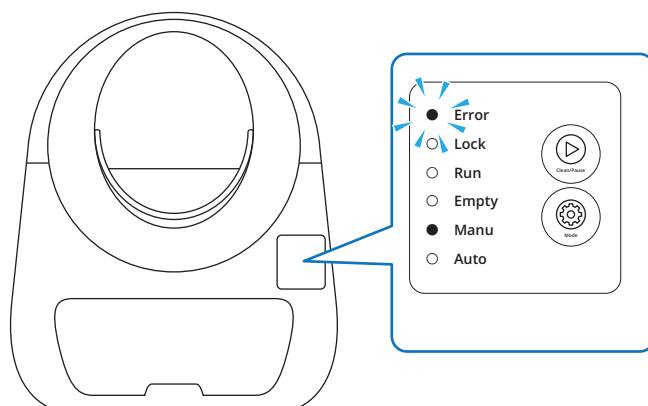
③ ドームカバーの取り付け

ドームカバーを取り付けて完了です。

※パチンと音がするまでしっかりと嵌めてください。

※カバーの突起は前方から合わせると取り付けやすいです。

- 本製品には回転中のドームによる怪我や事故を防ぐために、ドームの動きを止める安全装置が実装されています。ただし、事故や怪我を100%防止できるものではありませんので、飼い主様の元で安全に注意してご使用ください。
- 本製品の仕様による如何なる損害に対しても弊社は責任を負いかねますので予めご了承ください。



ドームが停止した際は「Error」ランプが赤く点灯します

《01：重量センサーによる安全装置》

- ドーム回転中に猫がドームへ入ろうとするなどして重量センサーに反応があった場合は、動作を一時停止します。重量センサーに反応がなくなると動作を再開します。

《02：挟み込み防止レバーによる安全装置》

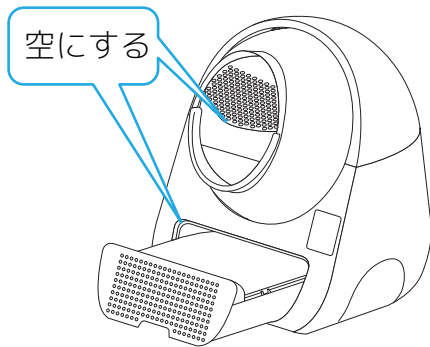
- コンテナ投入口の両脇に挟み込み防止スイッチがあります。
- 排泄ポートとベースの間に異物が挟まると、挟み込み防止スイッチが押されドームが停止します。
- 停止後は自動で動作を再開しません。「Clean/Pause」ボタンを押すと動作を再開します。

《03：過負荷検知による安全装置》

- ドームを回転させるモーターに負荷がかかりすぎると動作を停止します。
- いったん電源を切り、ドームを外してギア周辺に以上がないか確認してから再度電源を入れてください。
- モータへの負荷がなくなると、動作を再開します。

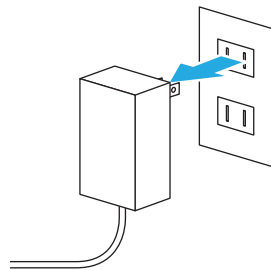
18 重量補正について

- オートモードで使用時に、一定時間後に処理サイクルが始まらない場合は重量補正を行ってください。
- 重量補正には 1.5kg の重りが必要になります。ペットボトルに水を入れたものが用意しやすいのでオススメです。(500ml ペットボトルを複数本使用しても構いません)
- 重りは数十グラムの誤差でも計測に大きなズレが生じる原因となります。必ず秤で計測した重りをご用意ください。
- 重りの出し入れの際はゆっくりと静かに行なってください。



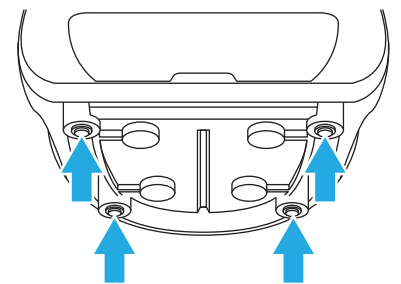
① ドームを空にする

ドームとコンテナの中を完全に空にし、1.5kg の重りを用意します。



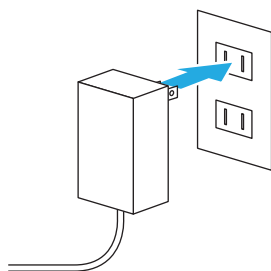
② 電源を切る

電源をオフにします。



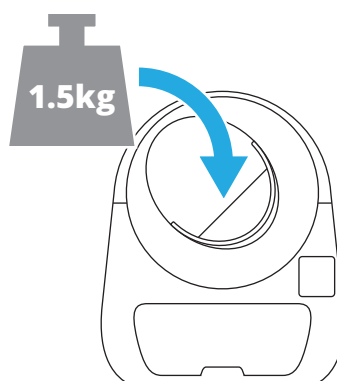
③ 重量センサーの確認

土台裏のセンサー（足部分）にゴミなどが挟まっていないか確認します。



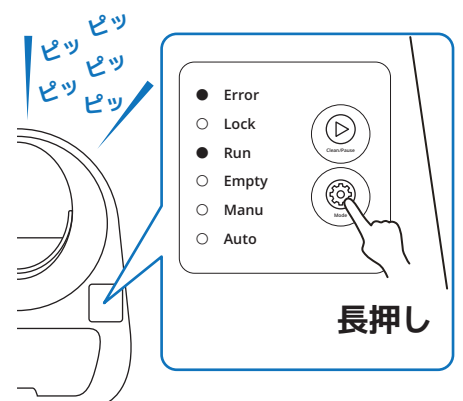
④ 電源を入れる

電源をオンにします。



⑤ 重りを入れる

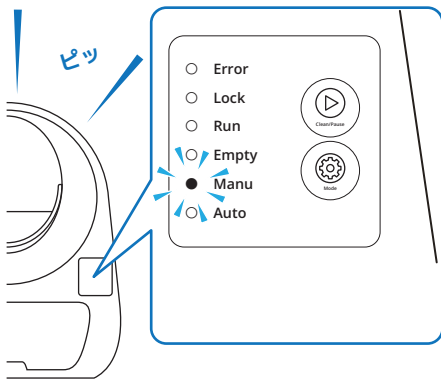
ドームが回転し始めますので、重りをドーム内に入れます。※この時ドームの回転が止まっても止まらなくても、どちらでも構いません。



⑥ Mode ボタンを長押し

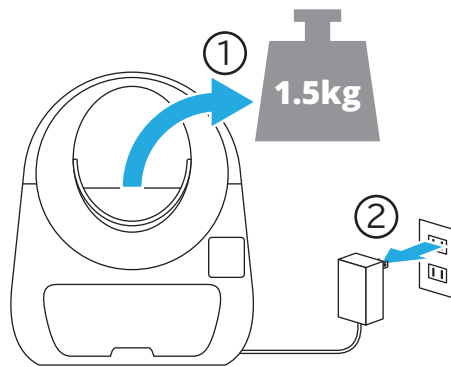
「Mode」ボタンを長押しし、5回ビープ音が鳴ったら離します。

19 重量補正について（続き）



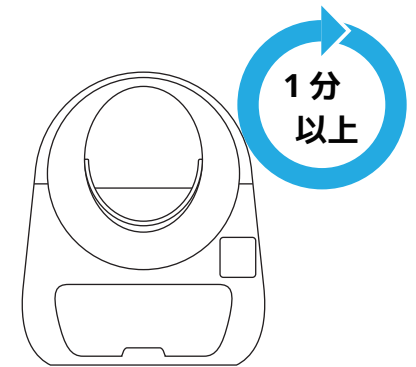
⑦ 少し待つ

Manu ランプが点滅するので、ブープ音が1回鳴るまで待ちます。



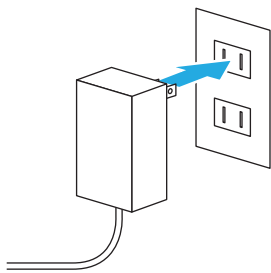
⑧ 重りを出す

ブープ音が鳴ったら、重りを取り出し SCOOPER の電源をオフにします



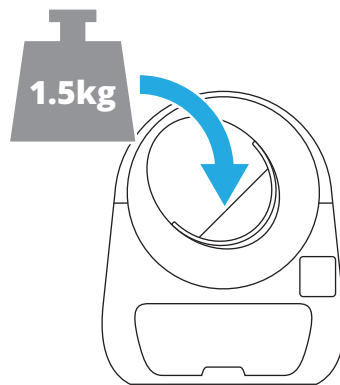
⑨ 1分待つ

そのまま1分以上待ちます。



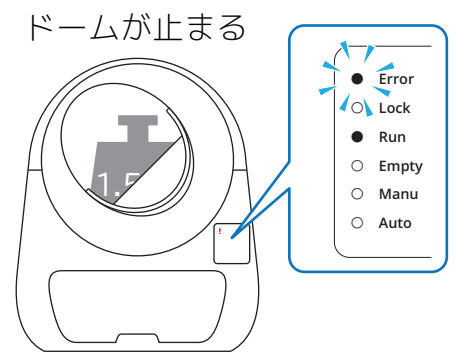
⑩ 電源を入れる

1分後、電源をオンにします。



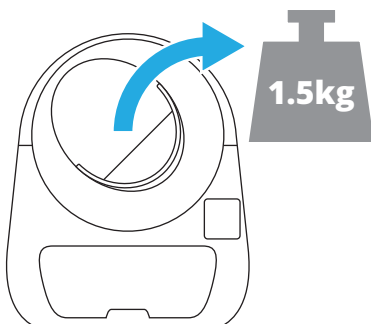
⑪ 重りを入れる

処理サイクルが始まるので、回転中に重りを入れてください。



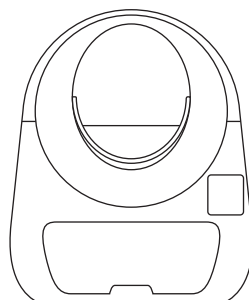
⑫ 動作の確認

エラーランプが点灯し、ドームが止まれば正常です。



⑬ 重りを出す

重りを取り出し、回転が終わるまで待ちます。



⑭ 終了

回転が終わると設定終了です。

《ペットがドームに入ったのに重量センサーが反応しない》

《固まった砂の処理が自動で始まらない》

- 体重が軽すぎたり（1.5kg 未満）、ドームに入っている時間が短すぎると反応しません。
- コンテナが一杯になっていると処理サイクルを行いません。コンテナを空にしてください。
- 製品をカーペットや柔らかい材質の床に設置していると反応しない場合があります。固くて水平な床に設置してください。
- オートモードの状態です砂を入れると増えた重量がペットか砂かを判断する為、しばらく重量センサーが反応しなくなります。マニュアルモードにして手動で処理サイクルを一度行ってください。
- マニュアルモードやエンプティモードでの使用中は自動で処理を行いません。
- 何らかの影響で重量センサーが機能していない可能性があります。いちど重量補正をお試しください。

《動作中にドームが勝手に止まる》

- ドーム回転中に猫がドーム内へ入る（重量センサーが反応する）と動作を一時停止します。外へ出ると動作を再開します。
- モーターに負荷がかかりすぎると動作を停止します。ドームを外して異常がないかギア周辺を確認してください。

《エラーランプが点滅している》

- コンテナが一杯になっています。コンテナを空にしてください。

《エラーランプが点灯している》

- 安全装置が作動してドームが停止しています。「17 安全装置について」を参照してください。

《エンプティモードでトイレ砂を排出したのに砂が残っている》

- ドームの構造上、段差（繋ぎ目）などに砂が引っかかりトイレ砂を全て排出しきれない場合があります。（不良ではありません）一粒残らず空にしたい場合はお手数ですがスコップや掃除機などで取り除いてください。

《01：製品情報》 ※製品の外観、および仕様は予告無く変更する場合がございます。

外寸(約)：幅 58× 奥 60× 高 71cm

重量(約)：11.5kg

主な材質：ポリプロピレン

生産国：中国

メーカー：Shanghai SCOOPER intelligence co.ltd (中国)

《02：無償修理保証について》

- 弊社では CATLINK SCOOPER YOUNG の無償修理保証を実施しております。(注文日から 12 ヶ月)
- 無償修理保証は弊社が輸入販売した CATLINK SCOOPER YOUNG に限ります。他社ショップ、オークション、フリマアプリなどで購入した製品は対象外です。
- 無償修理保証は「期間内の通常使用による故障時の無償修理」を保証するものです。修理中のペットの世話・健康管理・代品の用意やその他の損害を補償するものではありません。また、そのような要求に関しては弊社は一切対応致しかねます。
- 修理依頼品の梱包・発送作業はお客様自身でお願い致します。(訪問回収は行って ありません) また、お問い合わせ時に簡単な確認作業をお願いする場合があります。ご協力頂けない場合はそれ以上の対応は致しかねます。
- 修理には弊社に到着後 3～4 営業日かかりますので予めご了承ください。(依頼状況・時期などにより前後します)
- その他保証規定の詳細などは同封の「お問い合わせ先について」の案内をご確認ください。